

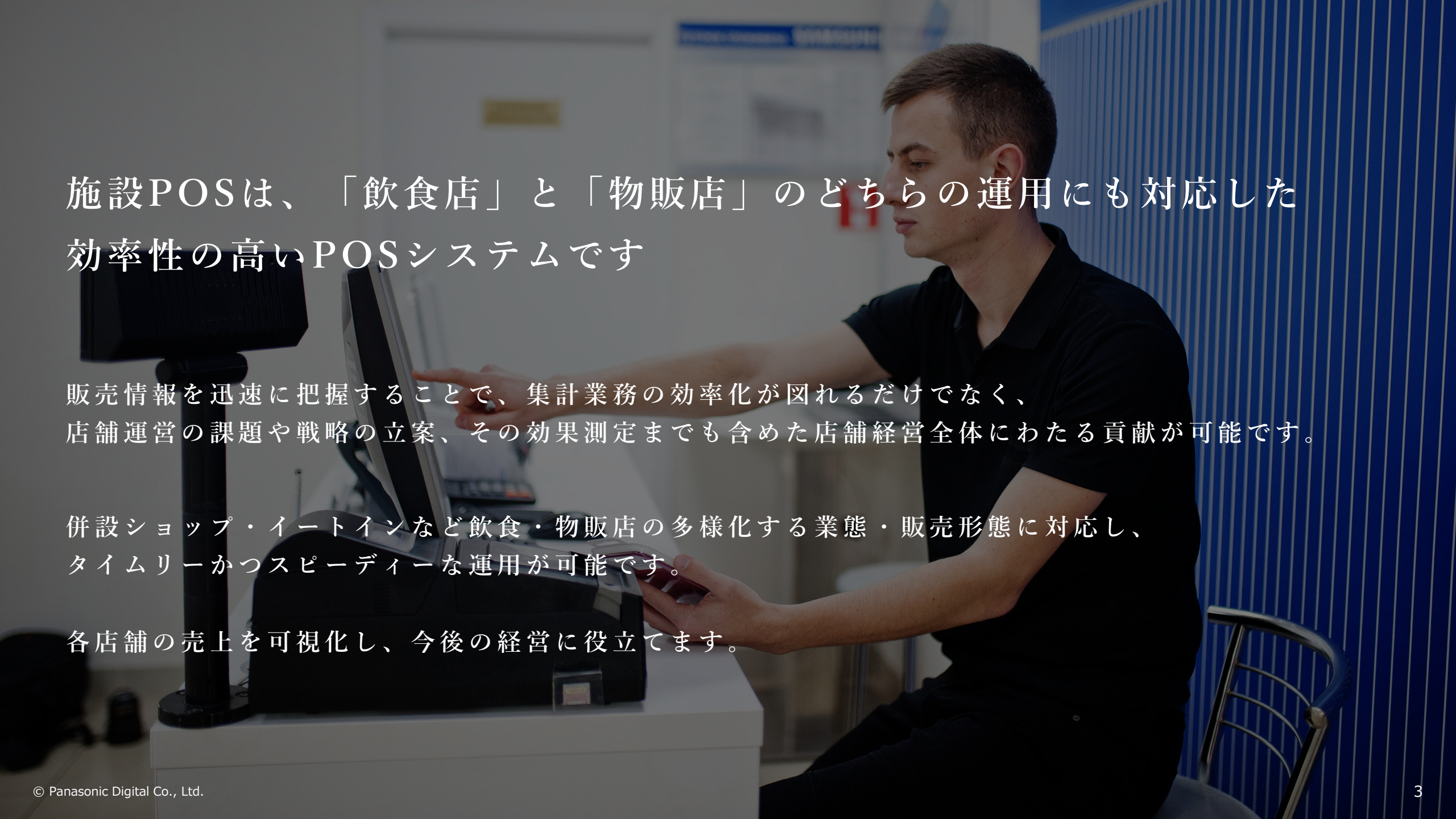


Panasonic

飲食/物販 施設向けPOSシステムのご紹介

パナソニック デジタル株式会社

はじめに	施設POSの概要	<ul style="list-style-type: none">施設POSシステムとは？施設POSをご利用いただける対象施設	・・・P4
施設POSの 詳細	施設が抱える課題	<ul style="list-style-type: none">施設が抱える課題	・・・P5
	施設POSによる解決	<ul style="list-style-type: none">飲食物販統合モデル充実した分析機能レジヤー施設業務に最適化されたMD機能	・・・P6～P7 ・・・P8 ・・・P9 ・・・P10～P11
	施設POSの機能	<ul style="list-style-type: none">各種機能紹介	・・・P12～P18
Appendix	機器ラインナップ/ 導入までの流れ	<ul style="list-style-type: none">機器ラインナップご参考価格導入までの流れ	・・・P19 ・・・P20 ・・・P21
	会社概要	<ul style="list-style-type: none">会社概要	・・・P22



施設POSは、「飲食店」と「物販店」のどちらの運用にも対応した 効率性の高いPOSシステムです

販売情報を迅速に把握することで、集計業務の効率化が図れるだけでなく、
店舗運営の課題や戦略の立案、その効果測定までも含めた店舗経営全体にわたる貢献が可能です。

併設ショップ・イートインなど飲食・物販店の多様化する業態・販売形態に対応し、
タイムリーかつスピーディーな運用が可能です。

各店舗の売上を可視化し、今後の経営に役立てます。

施設POSの概要 | 施設POSシステムとは？

テナント型施設特有の飲食 / 物販店舗をひとつのシステムでカバーし、オーナー視点の売上管理を実現いたします。



施設業務の効率化やコスト削減を検討するも、
以下のような課題に直面し、対策ができていない現状があります。



課題①

飲食も物販も同じシステムで統一したいが、ノウハウが無い



課題②

売上データを多角的かつリアルタイムに把握したい



課題③

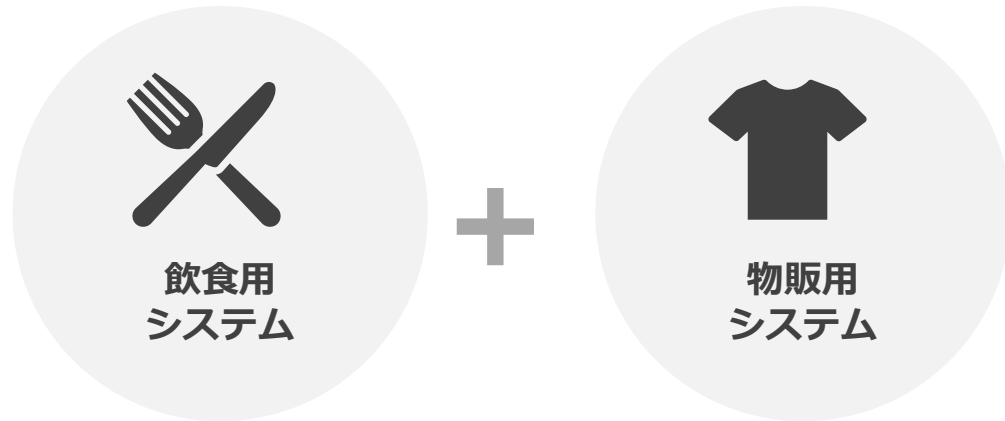
販売管理(仕入・在庫管理)が大変で、効率化をしたい

課題①

飲食も物販も同じシステムで統一したいが、ノウハウが無い

通常別々のシステムで管理、運用が必要な飲食 / 物販業務を
1システムで対応することが可能です。

通常



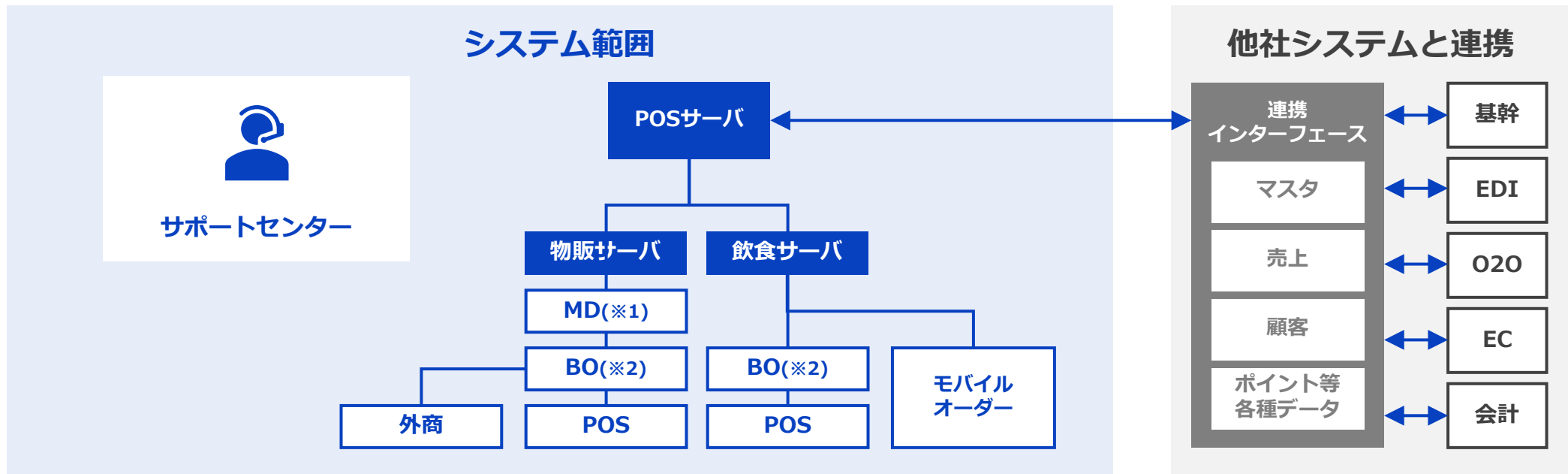
飲食用、物販用システムが別々のシステムになっており、管理 / 運用に手間がかかる

施設POS



販売管理～データ分析までの一連業務をシームレスかつ統合的に運用することも可能

飲食店舗と物販店舗の同一操作性による仕組みを提供します。
 売上集計の作業負担や、POSレジ操作の教育負担も軽減できます。



※1 MD : マーチャндаイジング (発注 / 仕入 / 移動 / 在庫 / 棚卸)

※2 BO : バックオフィス (端末設定 / マスタ / 売上集計)

課題②

売上データを多角的かつリアルタイムに把握したい



売上データを多角的かつ、リアルタイムで把握するための
分析機能を搭載しております。



多彩で柔軟な分析機能を
標準搭載



スピーディに出力が可能



感覚的に簡単に操作



専門スキルがなくても
結果を確認可能

現在別々で管理している「飲食」「物販」のデータについて、統一システム、同一オペレーションでデータ分析が可能です。



多彩で柔軟な機能

担当者ごとの個別ニーズに合わせた自由な視点で、必要な情報を見たい形で分析可能です。経営課題を見逃さず常に的確な戦略立案を可能とします。集計業務の効率化も図れます。



直観的な簡単操作

店舗別 / 商品分類別 / 属性別等ドラック&ドロップによる簡単操作で、項目追加や縦軸や横軸を自在に変更でき、様々な視点で分析が可能です。

課題③

販売管理 (仕入 / 在庫管理) が大変で、効率化したい



販売管理 (仕入 / 在庫管理) を効率化するために、
施設業務に沿った様々な発注業務に対応しています。

施設業務に沿った様々な発注業務に対応



リアルタイムで売れ筋商品の
正確な在庫数が分かる



商品の店舗間移動の判断



発注数の指導制度向上



店舗や本部からの仕入商品の発注業務

都度発注処理の他に発注点基準 / 在庫定数基準 / 売上基準等商品の回転率や仕入特性に応じた複数の発注方法が可能です。



用途に応じた様々な仕入処理機能が搭載

入荷予定データでのターンアラウンド検品 / ハンディ端末による検品データの取込み / EDIによる仕入先出荷実績データの取込



リアルタイムに在庫状況の確認可能

店舗間移動による在庫の有効活用やデッドストック分析も可能です。



売上 / 仕入 / 在庫データの月別 / 週別 / 日別の業績推移も参照可能

— 施設POSの機能 | 基本サービス機能一覧

仕入 / 在庫データ分析などバックオフィスの機能が充実

本部機能 | BO機能（本部）



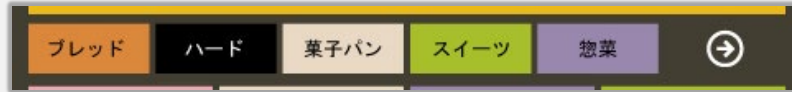
店舗機能 | POS機能



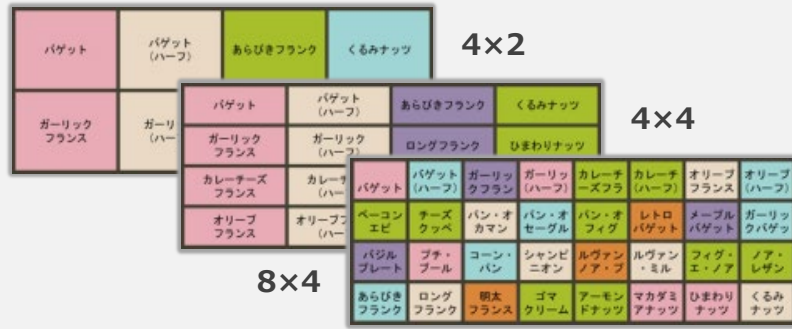
施設POSの機能 | POS機能（販売画面）

キーボードレスを実現。『操作性』『視認性』にこだわったレイアウト。

最大3,168個まで商品分類や単品登録が可能で、品目が多くバーコードの無い菓子・パン小売業様にも最適可能



プリセットボタンは、強弱をつけやすい3パターンのキーレイアウト



練習モードも搭載
開設から閉店までの全機能が利用でき、新人従業員のトレーニングが可能

商品キーモードでも4桁明細表示



見易い文字フォントの採用

見やすく、操作しやすいキーレイアウト

分かりやすいエラーガイダンス



常時使用の3つの機能キーをトップ画面に貼り付けました



14行の登録画面で簡単に売上明細を確認

画面上に数字キーを配置し、キーボードレスを実現



これ1台にあらゆる決済手段を集約し、レジ周りがすっきりスマートに！

stera terminalは、1台で30種類以上の決済手段に対応できるオールインワン端末です。デュアルスクリーンで端末の向きを変える必要がなく、スマートにお支払いが完了します。

対応可能な決済方法

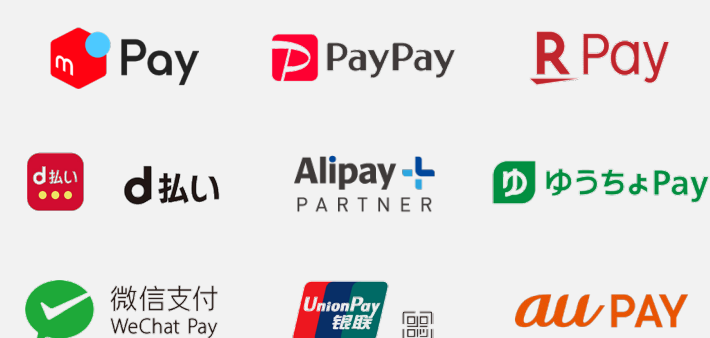
カード決済



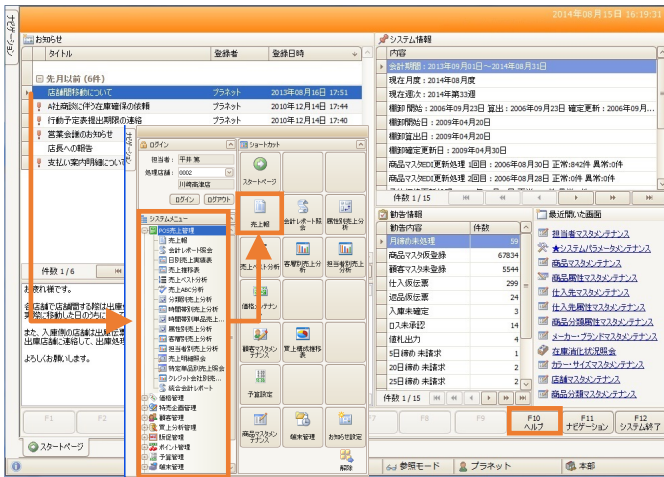
電子マネー



コード決済



ユーザ毎に詳細な操作レベルを設定するとともに、操作結果ログの収集機能を持ち、万一の不測の事態に備えられる強固なセキュリティ機能を実現しています。

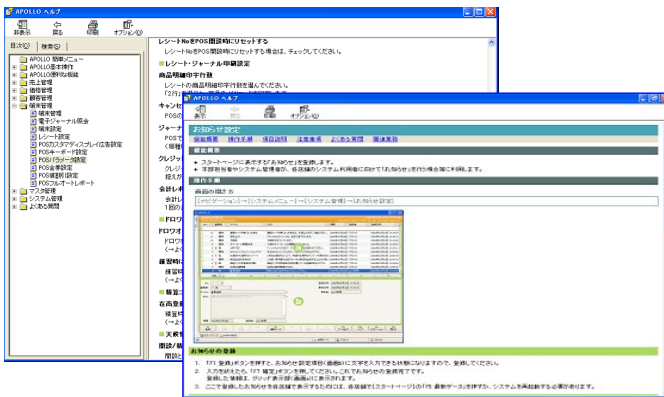


トップメニュー

日常的に操作する方ができる限りストレスなく、安心して正しく操作できるように工夫を凝らし、メニューの起動にショーカットキーを採用しました。

また、本部と店舗のコミュニケーションを円滑に行えるよう、システムのトップ画面にお知らせ機能を搭載し、連絡漏れを防ぎます。

操作を行う全ての担当者に対して、各機能ごとに「参照」「登録」「修正/削除」「データ出力」の操作レベルが設定可能です。



ヘルプ機能

操作方法や用語解説などを目次のほか調べたい語句の文字入力から検索することができます。

発注管理機能

店舗・本部からの仕入商品の発注ができます。(発注書の出力)

通常発注

PCから発注データを登録。
特定項目の複数商品への一括メンテナンス、
複数店舗への一括適用機能により、
発注条件の一括メンテナンスを提供。
マスタ未登録商品は仮登録機能で発注可能。

勧告発注

発注点基準 / 在庫定数基準 / 売上基準等商品の
回転率や仕入特性に応じた複数の発注方法を
提供します。
各種基準で抽出した発注数は、最終的に
担当者の判断で調整できます。

ハンディ発注

ハンディで登録した発注データを
クライアントPCで取り込みます。

仕入管理機能

仕入登録は入荷予定データでのターンアラウンド検品、ハンディ端末による検品データの取込み、EDIによる仕入先出荷実績データの取込にて登録できます。

ターンアラウンド検品

発注した伝票を仕入時に呼出し伝票突合による
検品や仕入を行ないます。
未納商品は、検品時に未納分商品の扱いを
キャンセルとするか発注残として扱うかを
選択できます。

ハンディ検品

ハンディ端末で入荷検品商品をスキャン
したデータを取込伝票照会画面により
伝票単位で確定できます。

値札発行

仕入入力画面から、必要な商品札（値札）を
発行できます。
即時発行と後で一括して発行する場合の
2パターンの選択ができます。
商品札は、倉庫や本部、店舗等での発行ができ、
値札も複数のフォーマットから選択できます。

物販在庫管理機能

いつでも正確な在庫状況を把握できます。リアルタイムで売れ筋商品の正確な在庫数分かるので、商品の店舗間移動の判断や発注数の指導などの精度が上がります。通常の一斉棚卸はもちろん、分類ごと・メーカーごとなど部分的に順次棚卸を行うことが可能です。

在庫照会

分類コード、有効在庫数など、様々な抽出条件での在庫検索が行え、帳簿在庫に加え引当数を考慮した有効在庫数が参照できます。

※ 引当数とは、輸送中などの入庫処理が行われていない空中在庫のことです。

デッドストック分析

本分析画面では、デッドストック商品をいち早く発見するために滞留期間の指定や最終売上日付の指定、在庫数の範囲指定をした上で、商品分類等で対象商品を探し出せます。

外商 / 売掛管理機能

得意先毎に、見積・受注・売上・請求・回収まで、データ連動し売掛金管理が行えます。企業や大口発注の際の、見積書発行から請求～回収までの事務作業負担を軽減します。

得意先管理

得意先ごとの売上・回収・売掛残はもちろん、粗利まで把握。見積書や請求書の発行作業も効率化。得意先とのお契約内容に合わせて、都度請求 / 月締め請求や締め日、割引率などが自由に設定できます。また、得意先ごとの売掛残明細を一覧表示し、回収作業を効率化します。もちろん明細単位の一部入金にも対応します。

リアルタイム粗利分析

営業拠点ごと / 外商担当者ごと / 得意先ごとの売上 / 回収 / 売掛残管理はもとより、“粗利（粗利金額 / 率）”がリアルタイムで掌握でき、利益重視の外商業務を実現します。

— 施設POSの機能 | BO機能（分析機能）

ドラッグ&ドロップによる、自由度の高い売上分析

属性や区分をドラッグ&ドロップすることで、ユーザのニーズに合わせた自由な分析が行えます。

様々な角度から売上分析が可能に

店舗経営に最低限必要となる基本帳票類の装備はもちろん、ユーザのニーズに合わせた分析を、簡単操作でDWH的に集計することができます。

また分析結果はエクセルシートへの出力や、グラフでの参照が可能。システムご担当者の帳票作成時間を短縮し、スピーディーかつタイムリーな経営のアシストを行います。

The screenshot shows the POS system's filter and table interface. The '店舗' dropdown is highlighted, indicating the user is selecting a specific store for analysis. The table below shows sales data for various categories like '11:POPカタログ' and '20:POPカタログ'.

This screenshot displays the '分類別売上分析' window. It features a comprehensive data table and control buttons. The 'F5 クラス出力' and 'F6 データ出力' buttons are highlighted with blue boxes, indicating their function in the analysis process.

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the output of the sales analysis. The data is organized into columns, providing a clear view of the sales figures and ratios for each category.

This screenshot shows the '分類別売上分析' window with two visualizations: a bar chart and a pie chart. The bar chart shows sales amounts for various categories, while the pie chart illustrates the distribution of sales across these categories.

例) 店舗ごとの分類別売上分析を行う場合
 店舗タグをドラッグし横軸にドロップ。
 →横軸に店舗タグが追加され、店舗ごとの分類別売上が参照できます。
 その他の項目を追加する場合、同様の動作を繰り返します。

— 機器ラインナップ/導入までの流れ

品名	型番	メーカー	機器イメージ
POS	XT-3815 G2	POSIFLEX	
レシートプリンタ	TM-m30 II	EPSON	
客面表示器	PD-6207U	POSIFLEX	
バーコードスキャナ	TD1100	Datalogic	
ドロア	CR-SP487	POSIFLEX	

一 機器ラインナップ/導入までの流れ

以下、利用料に関するご参考価格になります。

名称	ご参考価格	費用分類	補足
POSライセンス利用料	¥19,500円/月・台	ランニング費用	POSを利用する場合に必要な費用です。 POSの台数分必要となる項目です。
BOライセンス利用料	¥10,000円/月・台	ランニング費用	バックオフィス機能(マスタ管理、分析業務等)を利用する場合に必要な費用です。 通常のPCにインストールして利用します。
サーバ利用料	¥50,000円/月・施設	ランニング費用	POSサービスクラウド環境の 基本利用料(サーバ利用料)になります。 1施設(法人)毎に必要なになります。
POS端末一式	¥300,000円/台～	一時費用	POS端末一式の一時費用になります。 (本体、スキャナ、プリンタ、ドロア)
導入支援サービス	¥2,250,000円～	一時費用	導入準備に関する支援サービス料になります。 (各種機器セットアップ、マスタ作成支援、 操作教育、稼働後フォローなど)

— 機器ラインナップ / 導入までの流れ

ご契約から4ヶ月でシステム稼働が可能です。





Panasonic

会社名 | パナソニック デジタル株式会社

本社所在地 | 大阪市北区末広町2番40号
東京都中央区銀座8丁目21番1号

代表取締役
社長執行役員 | 阿部 裕

設立年月日 | 1999年2月22日

事業概要 | 情報サービス

その他のご不明点は
お気軽にお問い合わせくださいませ。



※ 記載された社名および商品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です